

日本の展望委員会「世界とアジアのなかの日本分科会」

第 1 回会合 議事録

日時 2008 年 9 月 16 日（火）午後 4 時から 5 時 15 分

場所 日本学術会議 5 階 会議室 5C-2

出席 小林、猪口、広瀬、磯貝、新川、毛里、武林、末廣（記録）。

（欠席）伊藤、岸、小野、渡邊。

（事務局）齋藤事務官、坂下事務官、今久留主事務官

議題

1. 小林世話連絡人から「日本の展望」に関する提言を、2011 年に発表される政府の「第 4 期科学技術基本計画」に向けて行うことの趣旨と、10 の分科会が発足した経緯について説明があった（添付資料を参照）。
2. 小林世話連絡人が猪口会員を「世界とアジアのなかの日本」分科会の委員長に選出することを提案し、全員一致で選出した。引き続き、猪口委員長が末廣連携会員を副委員長に、毛里連携会員と武林連携会員を幹事にそれぞれ任命し、了解した。
3. 配布資料にもとづき出席者が順番に、「世界とアジアのなかの日本」に関する提言について、どのような視点や姿勢で取り組むべきかについて説明を行った（添付資料を参照）。日本の存在感やリーダーシップが後退していくなかで学術面での日本の役割や貢献は何か、どのような分野が重要なイシューになりえるのか（食料問題、環境、社会保障、公衆衛生など）、アジアと日本の今後の関係などについて議論を行った。
4. 提言がだれに向けてなされ、どのような効果を期待して作成されるものかについて、議論を行った。基本的には特定の研究集団や学会の利益主張ではなく、政府に向けて提言を行うこと、世論に対しては間接的な訴えを行うことで合意した。
5. 2009 年 4 月総会（中間報告）に向けて、2 回くらい会合をもつこと。全員出席を望むことは困難であるため、できるだけメールを活用してメンバー間の意見交換につとめること。10 月 2 日の総会に向けて、最初のたたき台を作成することで合意した。
6. 次回の会合は、10 月 2 日午後 12 時から午後 1 時半。日本学術会議総会の昼休みを使って開催することを決定した。

以上。